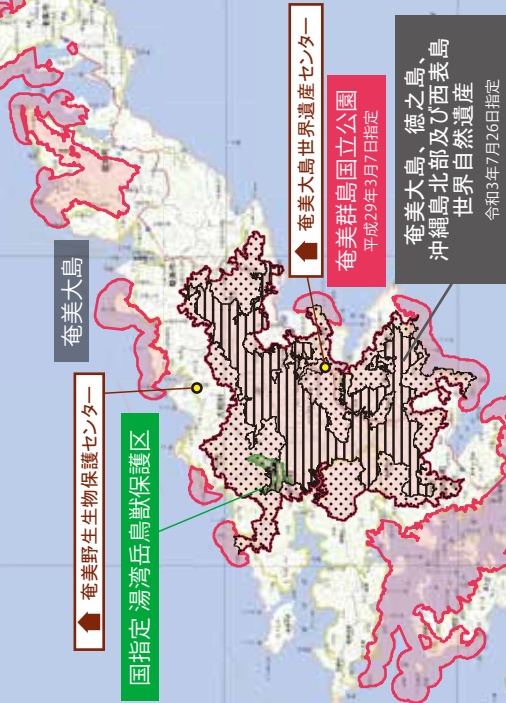
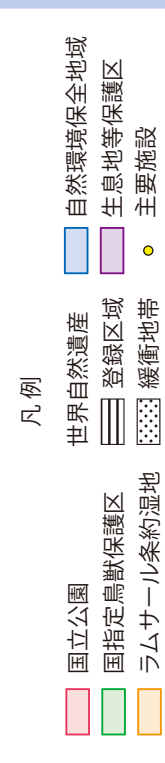




圖內管事務所環境自然美





自然環境の保全・整備

1 国立公園の管理

国立公園とは、「自然公園法」に基づき日本を代表する優れた自然の風景地を指定するものです。管内には「西表石垣」、「慶良間諸島」、「やんばる」、「奄美群島」の4つの国立公園があります。

西表石垣国立公園は日本最南端に位置する国立公園であり、西表島、石垣島や周辺海域等からなります。イリオモテヤマネコを育む原生的な亜熱帯照葉樹林、日本最大のマングローブ林、日本最大のサンゴ礁海域・石西礁湖などが特徴です。

慶良間諸島国立公園は、区域の大半を海域が占める海の国立公園です。渡嘉敷島、座間味島等大小30余りの島々やその周辺海域からなり、多様なサンゴ礁生態系、透明度の高いケラマブルーの海、白い砂浜等が特徴です。2016年からは国立公園満喫プロジェクトを通じて適切な利用の推進にも取り組んでいます。

やんばる国立公園は、沖縄島北部に位置し、ヤンバルクイナをはじめとする希少な動植物が生息・生育する亜熱帯照葉樹林や雲霧林が広がっています。また、人々の営みと自然の関係も深く、自然への祈りを捧げる祭事や炭窯などを見ることが出来ます。

奄美群島国立公園は、奄美大島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島等で構成され、アマミノクロウサギ等の希少な動植物が生息・生育する亜熱帯照葉樹林、琉球石灰岩の浸食による海食崖や鍾乳洞、サンゴ礁生態系などや、人と自然の関わりを示す有形無形の文化景観が特徴です。



やんばる国立公園



西表石垣国立公園

奄美群島国立公園



慶良間諸島国立公園

〈奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島 世界自然遺産地域〉

中琉球・南琉球の島々は、はるか昔から、地殻変動や海水面上昇・下降によって、大陸との結合・分離を繰り返し、そこに生息・生育する動植物も、長い年月をかけ、島毎に固有の種へと進化してきました。この独特で豊かな生物多様性を有する「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は令和3年7月に世界自然遺産に登録されました。



自然再生事業



ふれあい活動

2 自然環境保全地域の管理

人の手がほとんど加わっていない優れた自然環境を維持している地域を「自然環境保全法」に基づき、自然環境保全地域に指定しています。管内では、崎山湾・網取湾自然環境保全地域が指定されています。西表島の固有種であるアミトリセンベイサンゴの大群落を特色とし、日本で唯一の海域の自然環境保全地域として、自然環境の適正な保全に努めています。

3 自然再生事業の推進

平成18年2月に、自然再生推進法に基づき、多様な主体が参加する石西礁湖自然再生協議会が設立されました。環境省では、関係機関等とともに、衰退したサンゴ礁生態系を回復させるためサンゴ群集の修復やモニタリング調査等の事業に取り組んでいます。

4 自然とのふれあいの推進

自然と共生する社会の実現を目指し、国立公園を訪れる利用者などに自然への親しみや理解を深めてもらうため、歩道・展望台・標識等の整備や、ビジターセンター、野生生物保護センター等を拠点とした自然観察会や子どもパークレンジャー、野生生物に関する講演会などを行っています。



野生生物の保護管理

1 絶滅のおそれのある野生動植物の保護増殖

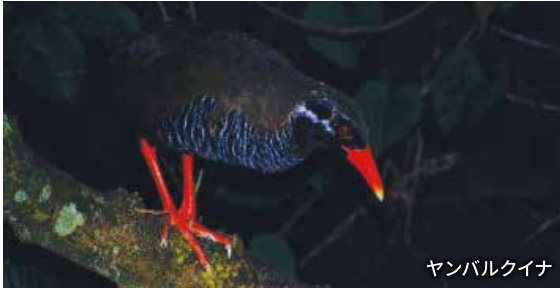
「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」では、国内において絶滅の危機に瀕しており保護を図る必要がある野生動植物種を、「国内希少野生動植物種」に指定し、その捕獲や譲渡の規制、生息・生育地の保全を行うとともに、必要な種について保護増殖のための事業を実施することとしています。

管内では、かつては共通の祖先種が広く分布していたものの、現在は琉球列島にのみ分布する遺存固有種や、琉球列島に隔離された後にさらに種分化が進んだ新固有種など、合計158種（令和6年2月時点）が指定されており、これらのうち、イリオモテヤマネコ、ヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ヤンバルテナゴコガネ、アマミノクロウサギ、オオトラツグミ、アマミヤマシギ、ミヤコカナヘビの8種について保護増殖事業を実施しています。

また、種の保存法に基づく生息地等保護区として、沖縄県久米島に宇江城岳キザツサワヘビ生息地保護区およびアアラ岳キザツサワヘビ生息地保護区が、石垣島に米原インガキニイニイ生息地保護区が指定され、その生息環境の保護が図られています。



イリオモテヤマネコ



ヤンバルクイナ

2 野生鳥獣の保護管理

「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護管理法）」に基づき、鳥獣の保護繁殖を図るために、管内では12箇所の国指定鳥獣保護区が指定されています。鳥獣保護区内では、狩猟が規制され、特別保護地区内では、建築物の設置、樹木の伐採、水面の埋立など鳥獣の生息・繁殖に影響を及ぼすおそれのある行為が規制されています。また、定期的に鳥獣の生息状況をモニタリングし、漫湖、大東諸島、池間では保全事業を実施して、ピロウ林や干潟といった生息環境の改善、外来種対策等を行っています。



名蔵アンバル

3 侵略的外来種対策

海外由来の侵略的外来種のうち、特に生態系や産業に影響が大きい種は法律で「特定外来生物」に指定してその定着や拡散の防止に力を入れています。フイリマングースでは2024年に奄美大島での根絶を達成したほか、沖縄島北部でも分布域縮小によってヤンバルクイナなど在地種の分布回復が確認されています。また、保全地域だけではなく、外来種侵入の入り口となる港湾や、その周辺地域における外来アリ類や外来カエル類の防除や監視など、自治体を始めとした関係機関と連携して、対策や普及啓発を実施しています。



マングース

4 ラムサール条約湿地

国際的に協力して湿地の保全や賢明な利用（ワイズユース）を進めることを目的とする「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）」に基づく国際的に重要な湿地として、管内では、漫湖（沖縄県那覇市、豊見城市）が平成11年5月、名蔵アンバル（石垣市）と慶良間諸島海域（同渡嘉敷村、座間味村）が平成17年11月（平成27年5月に登録区域拡大）、久米島の溪流・湿地（同久米島町）が平成20年10月、与那覇湾（同宮古島市）が平成24年7月に登録されています。



漫湖干潟



管内主要施設の概要

1 西表石垣国立公園竹富島ビジターセンター「竹富島ゆがふ館」

[平成16年6月開館]

竹富島の自然と伝統文化を紹介する施設として、竹富島を訪れる人々に竹富島の旬の情報を提供しています。ビジターセンターから始まる竹富島自然学習歩道には、島の聖地ともいえる御嶽（おん）等を紹介した解説板があり、ウォーキングをしながら、島の文化や自然に関する理解を深めることができます。

2 西表石垣国立公園黒島ビジターセンター

[昭和58年12月開館]

竹富町の文化財指定地である「番所跡」に建てられており、黒島の美しいサンゴ礁等の自然や伝統文化に関する展示を行っています。三線や伝統玩具の指ハブ作りを体験できます。伝統行事である豊年祭の行われる宮里海岸に面しておりシャワーや更衣室を備えています。

3 奄美野生生物保護センター

[平成12年4月開館]

奄美に生息する希少な野生生物や奄美固有の生態系について解説し、野生生物や自然環境の保護に関する理解や関心を深める普及啓発活動を行っている他、アマミノクロウサギ、オオトラツグミ、アマミヤマシギ等の絶滅のおそれのある野生生物の保護増殖事業、これらの希少野生生物を脅かすマングースの防除事業、各種調査研究などを総合的に行うための拠点として活動しています。

4 やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」

[平成11年4月開館]

やんばるに生息する希少な野生生物ややんばる固有の生態系について解説し、野生生物や自然環境の保護に関する理解や関心を深めるための普及啓発活動を行っている他、ノグチゲラ、ヤンバルクイナなどの絶滅のおそれのある野生生物の保護増殖事業、これらの希少野生生物を脅かすマングースの防除事業、各種調査研究などを総合的に行うための拠点施設として活動しています。

5 西表野生生物保護センター

[平成7年7月開館]

西表島に生息する希少な野生生物や西表島固有の生態系について解説し、野生生物や自然環境の保護に関する理解や関心を深めるための普及啓発活動を行っている他、イリオモテヤマネコ等の絶滅のおそれのある野生生物の保護増殖事業、各種調査研究などを総合的に行うための拠点施設として活動しています。

6 漫湖水鳥・湿地センター

[平成15年5月開館]

国際的にも重要な渡り鳥の中継地と越冬地である漫湖は、1999年5月、国内で11番目のラムサール条約湿地に登録されました。水鳥をはじめとする野生生物の保護と湿地の保全、賢明な利用についての普及啓発や調査研究を推進する施設として活動しています。

7 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

[平成12年5月開館]

国際的なサンゴ礁の保全の枠組みである国際サンゴ礁イニシアティブ（ICRI）を推進することを目的として設置された施設です。サンゴ礁のモニタリング調査、サンゴ礁に関する情報の収集・整理・提供、普及啓発活動を実施しています。

8 慶良間諸島国立公園ビジターセンター「さんごゆんたく館」（阿嘉島）

[平成30年3月開館]

慶良間諸島国立公園に関する情報発信、サンゴ礁生態系の保全に関する普及啓発、自然観察会やワークショップ実施による自然とのふれあいの提供、来訪者と地域住民との交流促進等を目的とした拠点施設です。休憩スペースや港が見えるテラスでゆっくりと「ゆんたく」（沖縄の方言でおしゃべり）できます。

9 慶良間諸島国立公園ビジターセンター「青のゆるる館」（座間味島）

[令和3年10月開館]

座間味島の玄関口である座間味集落の入口に位置し、観光案内の提供、最新VR映像等を使った展示による慶良間諸島の景観や生きもの、歴史や文化の紹介、ルールやマナーの普及啓発等を行っています。お土産販売やカフェ・読書スペースもあり、一体的なサービスを受けられる慶良間諸島国立公園の拠点施設です。

10 奄美大島世界遺産センター

[令和4年7月開館]

奄美大島の世界自然遺産の森の環境とそこに棲む生き物を体感的に理解でき、島内の自然体験フィールドや自然を楽しむためのマナーやルールを周知する施設です。奄美群島国立公園の適正な利用促進と密猟盗掘対策等の保全管理にも取り組んでいます。

11 徳之島世界遺産センター

[令和6年12月開館]

「徳之島リビングミュージアム」をコンセプトとし、徳之島の世界遺産としての価値である生物多様性や雄大な自然の魅力を伝え、訪れる人々にとって居場所となるくつろぎの空間を提供する施設です。自然環境に関する徳之島の玄関口であり、結節点として、エコツアーの拠点や専門家などと連携したイベント等にも対応します。

管内の保護増殖事業計画	計画名	分布	策定年月日	策定主体
イリオモテヤマネコ保護増殖事業計画	西表島	西表島	H 7. 7. 1 7	環境庁、農林水産省
ヤンバルテナゴコガネ保護増殖事業計画	沖縄島北部	沖縄島北部	H9.4.3 (H27.4.21変更)	文部科学省、農林水産省、環境省
ノグチゲラ保護増殖事業計画	沖縄島北部	沖縄島北部	H10.7.28 (H27.4.21変更)	文部科学省、農林水産省、環境省
オオトラツグミ保護増殖事業計画	奄美大島	奄美大島	H11.8.31 (H27.4.21変更)	文部科学省、農林水産省、環境省
アマミヤマシギ保護増殖事業計画	主に奄美群島	主に奄美群島	H11.8.31 (H27.4.21変更)	農林水産省、環境省
アマミノクロウサギ保護増殖事業計画	奄美大島、徳之島	奄美大島、徳之島	H16.11.19 (H27.4.21変更)	文部科学省、農林水産省、環境省
ヤンバルクイナ保護増殖事業計画	沖縄島北部	沖縄島北部	H16.11.19 (H27.4.21変更)	文部科学省、国土交通省、農林水産省、環境省
ミヤコカナヘビ保護増殖事業	宮古諸島	宮古諸島	R 3. 2. 1 5	環境省

国立公園	公園名	指定年月日	陸域 (ha)	海域 (ha)	位置
	西表石垣国立公園	S 47. 5. 15	40,658	84,062	石垣市・竹富町
	慶良間諸島国立公園	H 26. 3. 5	3,520	90,475	渡嘉敷村・座間味村
	やんばる国立公園	H 28. 9. 15	17,352	3,670	国頭村・大宜味村・東村
	奄美群島国立公園	H 29. 3. 7	42,196	33,082	奄美市・大和村・宇検村 瀬戸内町・龍郷町・喜界町 徳之島町・天城町・伊仙町 和泊町・知多町・与論町

自然環境保全地域	地域名	指定年月日	面積 (ha)	位置
	崎山湾・網取湾自然環境保全地域	S 58. 6. 28	1,077	竹富町

生息地等保護区	名称	指定年月日	面積 (ha)	位置
	宇江城岳キザツサワヘビ生息地保護区	H 10. 6. 15	600	久米島町
	米原インガキニイニイ生息地保護区	H 15. 11. 11	9	石垣市
	アアラ岳キザツサワヘビ生息地保護区	R 3. 7. 29	599	久米島町

国指定鳥獣保護区	名称	指定年月日	鳥獣保護区 (ha)	特別保護地区 (ha)	位置
	湯湾岳	S 40. 11. 1	320	103	大和村・宇検村
	屋我地	S 51. 11. 1	3,217	1,001	名護市・今帰仁村
	漫湖	S 52. 11. 1	174	58	那覇市・豊見城市
	仲の神島	S 56. 3. 31	18	18	竹富町
	与那国	S 56. 3. 31	1,040	63	与那国町
	西表	H 4. 3. 1	10,218	9,999	竹富町
	名蔵アンバル	H 15. 11. 1	1,147	154	石垣市
	大東諸島	H 16. 11. 1	4,243	274	北大東村・南大東村
	やんばる（安波）	H 21. 11. 1	465	0	国頭村
	やんばる（安田）	H 21. 11. 1	1,279	220	国頭村
	池間	H 23. 11. 1	282	0	宮古島市
	与那覇湾	H 23. 11. 1	1,366	704	宮古島市

ラムサール条約湿地	名称	登録年月日	面積 (ha)	位置
	漫湖	H 11. 5. 15	58	那覇市・豊見城市
	名蔵アンバル	H 17. 11. 8	157	石垣市
	慶良間諸島海域	H 17. 11. 8 H27.5.28 登録区域拡大	8,290	渡嘉敷村・座間味村
	久米島の溪流・湿地	H 20. 10. 30	255	久米島町
	与那覇湾	H 24. 7. 3	704	宮古島市

世界自然遺産	登録地名	登録年月日	面積 (ha)	位置
	奄美大島、徳之島、 沖縄島北部及び西表島	R3.7.26	登録区域: 42,698 緩衝地帯: 24,467	奄美市、大和村、 宇検村、瀬戸内町、 龍郷町、徳之島町、 天城町、伊仙町、国頭村、 大宜味村、東村、竹富町